

# だい かい じてんしゃ 第59回 自転車クイズ (ルールとマナー)

いちざい ふくおかけんこうつうあんぜんきょうかい  
(一財) 福岡県交通安全協会

かんしゅう ふく おか けん けい さつ  
監修 福岡県警察

つぎ じてんしゃ かん もんだい  
次の自転車に関する問題について、3つの答えの中から正解を1つ選んで、別紙解答  
ようし がいとく きごう  
用紙の該当する記号 (A・B・C) を○で囲んでください。

なお、このクイズにおける「自転車」とは普通自転車を意味します。

だい もん じてんしゃ しゃたい おお こうぞう あやま  
第1問 自転車の車体の大きさや構造について、誤りはどれですか。

- A 長さ190センチメートル以下、幅60センチメートル以下であること。
- B 補助車輪などの側車をつけていないこと。
- C ブレーキは、走行中容易に操作できる位置にあること。

だい もん じてんしゃ かくぶ はたら ただ  
第2問 自転車の各部のしくみと働きについて、正しいのはどれですか。

- A 正しい乗車姿勢をとるためには、ハンドルのグリップ部分がサドルよりも5～10センチメートルほど高くなるようにする。
- B ブレーキは、時速10キロメートルのとき、ブレーキをかけてから1メートル以内で止まれるものでなければならない。
- C ライト (前照灯) は、前方5メートルの道路上の障害物がよく見える明るさが必要である。

だい もん じてんしゃ てんけん ただ  
第3問 自転車の点検などについて、正しいのはどれですか。

- A 日常点検は、自転車を使用するときはそのつど行うものであるが、点検は突出部などでけがをしないように、さわって行わない。
- B 定期点検は、自転車各部の機能を日常点検よりもくわしく調べるもので、自動車と同じように法律で3年に1回の点検が定められている。
- C TSマーク、JISマーク、BAAマーク、SGマークなどの車体の安全性を示すマークのついた自転車を使う。

だいもん じてんしゃ ただ の かた あやま  
第4問 自転車の正しい乗り方について、誤りはどれですか。

- A サドルにまたがったときに、両足先が地面につかないような、からだに合わない自転車には乗らないようにする。
- B 自転車の二人乗りは禁止されているが、大人が幼児用の座席に幼児一人を乗せるときや、幼児二人を幼児二人同乗用自転車の幼児用座席に乗せるときは、例外的に認められる。
- C 雨の日に自転車に乗るときは、かさ差し運転は危険なので雨合羽などを着るようにしなければならないが、かさを自転車に固定すれば運転してもよい。

だいもん じてんしゃ じょうしゃよう ちゃくよう あやま  
第5問 自転車の乗車用ヘルメットとシートベルトの着用について、誤りはどれですか。

- A 自転車に乗るときは、安全のため乗車用ヘルメットをかぶるよう努めなければならない。
- B こどもの保護者は、こどもが自転車を運転するときや、幼児を幼児用座席に乗せて運転するとき、こどもに乗車用ヘルメットをかぶらせなくてもよい。
- C シートベルトを備えている幼児用座席では、シートベルトを着用させる。

だいもん じてんしゃ はっしん ていし かた ただ  
第6問 自転車の発進と停止のし方について、正しいのはどれですか。

- A 自転車に乗るときは、見通しのきく道路の左端で、左側から自転車にまたがり右足をペダルにかけ、後方前方の安全を確かめ右足から踏み出す。
- B 停止するとき、後方の安全を確かめ早めに合図を行い、後輪のブレーキをかけ速度を落としながら、道路の左端に沿って自転車がかたむいた方の足をつけ停止する。
- C 徐行したり、停止したりする場合には、静かに後輪のブレーキをかけて速度を加減し、やむを得ず急停止する場合には、前輪のブレーキを弱くかけ、後輪のブレーキを強くかける。



第7問 自転車<sup>じてんしゃ</sup>が通行<sup>つうこう</sup>する道路<sup>どうろ</sup>について、正しい<sup>ただ</sup>のはどれですか。

- A 自転車<sup>じてんしゃ</sup>は、車道<sup>しゃどう</sup>をとおることが原則<sup>げんそく</sup>なので、どのような場合<sup>ばあい</sup>であっても、車道<sup>しゃどう</sup>の左端<sup>ひだりはし</sup>に沿って<sup>そ</sup>通行<sup>つうこう</sup>しなければならない。
- B 自転車<sup>じてんしゃ</sup>は、標識<sup>ひょうしき</sup>や標示<sup>ひょうじ</sup>により、普通<sup>ふつう</sup>自転車<sup>じてんしゃ</sup>専用<sup>せんよう</sup>通行<sup>つうこう</sup>帯<sup>たい</sup>が設け<sup>もう</sup>られている道路<sup>どうろ</sup>では、その通行<sup>つうこう</sup>帯<sup>たい</sup>を通行<sup>つうこう</sup>しなければならない。
- C 自転車<sup>じてんしゃ</sup>は、歩行者<sup>ほこうしゃ</sup>の通行<sup>つうこう</sup>に大きな妨げ<sup>おお</sup>とならない場合は、道路<sup>さまた</sup>の中央<sup>ばあい</sup>から左<sup>どうろ</sup>の部分<sup>ちゅうおう</sup>に設け<sup>ひだり</sup>られたすべての路側帯<sup>ろそくたい</sup>を通行<sup>とお</sup>することができる。

第8問 自転車<sup>じてんしゃ</sup>が歩道<sup>ほどう</sup>を通行<sup>つうこう</sup>できる場合<sup>ばあい</sup>について、誤り<sup>あやま</sup>はどれですか。

- A 歩道<sup>ほどう</sup>に自転車<sup>じてんしゃ</sup>などが歩道<sup>ほどう</sup>を通行<sup>つうこう</sup>できることを示す標識<sup>しめ</sup>や標示<sup>ひょうじ</sup>があるとき。
- B 道路工事<sup>どうろこうじ</sup>や連続<sup>れんぞく</sup>した駐車<sup>ちゅうしゃ</sup>車両<sup>しゃりょう</sup>などにより、車道<sup>しゃどう</sup>の左側<sup>ひだりがわ</sup>を通行<sup>つうこう</sup>することが困難<sup>こんなん</sup>なとき。
- C 自転車<sup>じてんしゃ</sup>の運転者<sup>うんでんしゃ</sup>が、13歳<sup>さい</sup>以下のこども、70歳<sup>さい</sup>以上のお年寄り<sup>としよ</sup>、からだの不自由<sup>ふじゆう</sup>な人<sup>ひと</sup>であるとき。

第9問 自転車<sup>じてんしゃ</sup>に関する信号<sup>しんごう</sup>の種類<sup>しゅるい</sup>と意味<sup>い</sup>について、正しい<sup>ただ</sup>のはどれですか。

- A 歩行者用<sup>ほこうしゃよう</sup>信号<sup>しんごう</sup>の青色<sup>あおいろ</sup>灯火<sup>とうか</sup>の点滅<sup>てんめつ</sup>の場合は、横断<sup>おうだん</sup>歩道<sup>ほどう</sup>を進行<sup>しんこう</sup>しようとする自転車<sup>じてんしゃ</sup>は、横断<sup>おうだん</sup>を始めてはならない。
- B 車両用<sup>しゃりょうよう</sup>信号機<sup>しんごうき</sup>の青色<sup>あおいろ</sup>灯火<sup>とうか</sup>の右向き<sup>みぎむ</sup>の矢印<sup>やじるし</sup>の場合は、自転車<sup>じてんしゃ</sup>は進行<sup>しんこう</sup>することができる。
- C 車両用<sup>しゃりょうよう</sup>信号機<sup>しんごうき</sup>の赤色<sup>あかいろ</sup>灯火<sup>とうか</sup>の点滅<sup>てんめつ</sup>の場合は、歩行者<sup>ほこうしゃ</sup>や自転車<sup>じてんしゃ</sup>は、ほかの交通<sup>こうつう</sup>に注意<sup>ちゅうい</sup>して進む<sup>すす</sup>ことができる。

第10問 自転車<sup>じてんしゃ</sup>が道路<sup>どうろ</sup>を横断<sup>おうだん</sup>する場合<sup>ばあい</sup>について、誤り<sup>あやま</sup>はどれですか。

- A 道路<sup>どうろ</sup>を横断<sup>おうだん</sup>しようとするとき、近く<sup>ちか</sup>に自転車<sup>じてんしゃ</sup>横断<sup>おうだん</sup>帯<sup>たい</sup>がなく、横断<sup>おうだん</sup>歩道<sup>ほどう</sup>がある場合は、必ず<sup>かなら</sup>、自転車<sup>じてんしゃ</sup>から降りて、自転車<sup>じてんしゃ</sup>を押して横断<sup>おうだん</sup>歩道<sup>ほどう</sup>をわたる。
- B 道路<sup>どうろ</sup>を横断<sup>おうだん</sup>しようとするとき、近く<sup>ちか</sup>に自転車<sup>じてんしゃ</sup>横断<sup>おうだん</sup>帯<sup>たい</sup>も横断<sup>おうだん</sup>歩道<sup>ほどう</sup>もない場合には、左右<sup>さゆう</sup>の見通し<sup>みとお</sup>のよいところをえらんで、自動車<sup>じどうしゃ</sup>が来ないことを確かめて、道路<sup>どうろ</sup>を直角<sup>ちよくかく</sup>にわたる。
- C 道路<sup>どうろ</sup>を横断<sup>おうだん</sup>しようとするとき、近く<sup>ちか</sup>に自転車<sup>じてんしゃ</sup>横断<sup>おうだん</sup>帯<sup>たい</sup>がある場合には、自転車<sup>じてんしゃ</sup>横断<sup>おうだん</sup>帯<sup>たい</sup>をとおらなければならない。

第11問 自転車の交差点の通行方法（環状交差点を除く。）について、誤りはどれですか。

- A 自転車事故でいちばん多いのは、「飛び出し」によるものなので、「一時停止」の標識のあるところでは、一時停止をして、安全を確かめなければならない。
- B 交差点を左折するときには、後方の安全を確かめ、早めに左折の合図を行い、できるだけ道路の左端に沿って十分速度を落とし、横断中の歩行者の通行を妨げないように注意して曲がる。
- C 信号機などにより、交通整理の行われていない交差点を右折するときには、後方の安全を確かめ、早めに右折の合図を行い、できるだけ道路の中央付近に寄って、十分速度を落として曲がる。

第12問 自転車に乗る場合の走行上の注意について、正しいのはどれですか。

- A 他の自転車と並んで走っては行けないが、「並進可」の標識のあるところでは、3台まで並んで走ることができる。
- B 歩道から車道、車道から歩道への乗り入れは、車道や歩道の安全を確かめたうえでを行い、歩道から車道に乗り入れる場合、右側通行にならないようにする。
- C 緊急自動車が近づいてきたときは、交差点であればその場で道路の左端に寄って一時停止して進路をゆずる。

第13問 自転車運転者講習について、正しいのはどれですか。

- A 自転車運転中に一定の違反行為（危険行為）を一度でも行った運転者に行う講習である。
- B 「酒気帯び運転」や「運転中のながらスマホ」は、自転車運転者講習制度の対象である危険行為にならない。
- C 講習受講命令を受け、講習を受講しなかった場合は、処罰の対象となる。

第14問 自動車の運転者が自転車に対して気をつけるべきことについて、誤りはどれですか。

- A 交差点などでは、自転車の運転者とできるだけアイコンタクトをとりながら通行する。
- B 自転車のそばを通るときは、自転車との間に安全な間隔をあげなければならないが、安全な間隔は、自転車が自動車を認識していないおそれがあるときは、おおむね1メートルが目安である。
- C 横断歩道や自転車横断帯に近づいたときは、横断する歩行者や自転車などがないことが明らかな場合のほかは、その手前で停止できるように速度を落として進む。

第15問 自転車で交通事故を起こしたときについて、正しいのはどれですか。

- A 相手から「けがもなく大丈夫。」と言われたときは、その場から立ち去ってもよい。
- B 運転者は、ただちに運転を停止して、負傷者を救護し、道路における危険を防止しなければならない。
- C 自転車は軽車両なので、交通事故を起こしても自動車のような刑事責任や民事責任は生じない。



だいもん つぎ どうろひょうしき いみ ただ  
第16問 次の道路標識の意味で、正しいのはどれですか。



- A 自転車は駐車禁止です。
- B 自転車は通行止めです。
- C 自転車は通行できます。

だいもん つぎ どうろひょうしき いみ ただ  
第17問 次の道路標識の意味で、正しいのはどれですか。



- A こどもを乗せて通行できます。
- B 歩行者だけが通行できる専用道路です。
- C 自転車は歩道を通行することができます。

だいもん つぎ どうろひょうしき いみ ただ  
第18問 次の道路標識の意味で、正しいのはどれですか。



- A 自転車の専用道路です。
- B 自転車は2台以上並んで通行できます。
- C 自転車は2台並んで通行できます。

だいもん つぎ どうろひょうしき いみ ただ  
第19問 次の道路標識の意味で、正しいのはどれですか。



- A こどもは手をつないで歩きましょう。
- B 小学校の通学路です。
- C 近くに学校、幼稚園、保育所などがあります。

だいもん つぎ どうろひょうしき いみ ただ  
第20問 次の道路標識の意味で、正しいのはどれですか。



- A いつでも止まれる速度で進行しなければいけません。
- B 一時停止をして安全を確かめなければいけません。
- C 自転車は通ることができません。